No.51

ΑΛΕΞΑΝΔΡΕΙΑ

恵泉女学園大学図書館報

特集 「永久保存本」

「私の永久保存本」

著者の渡辺和子さんは、岡山県のノートルダム清心女子大学の元学長で、85歳の時にこの本を出版されました。今から約10年前、東日本大震災の翌年のことでした。5年連続ベストセラーランキングに入り、国民的ベストセラーと称されたこの本は、美しく優しい言葉で綴られています。

「どうしても咲けない時もあります。
雨風が強い時、日照り続きで咲けないとき、
そんなときには無理に咲かなくてもいい。
その代わりに、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。
次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために。」

「不機嫌は立派な環境破壊だということを忘れないでいましょう。
私たちは時に、顔から、口から、態度から、
ダイオキシンを出していないでしょうか。
これらは大気を汚染し、環境を汚し、人の心をむしばむのです。
笑顔で生きるということは、立派なエコなのです。」

『置かれた場所で咲きなさい』
渡辺和子著
幻冬舎　2012年

渡辺和子さんは2016年に天に召されましたが、「心のともしび」という番組でお話をされていた様子は今でもYouTubeで視聴できます。文章そのままの温かく謙虚な語り口は、泉のように清らかで、心の渇きを潤してくれます。

人として美しくなりたい。善く生きたい。もしそのような願いを抱いていらっしゃったら、ぜひ、『置かれた場所で咲きなさい』を手に取ってみてください。そしてできれば渡辺和子さんの動画もご覧ください。きっと新しい心の扉が開かれ、生きる希望が満ちてくることでしょう。https://www.youtube.com/watch?v=XQcSjUTqJdw

岩佐玲子　教員 教職課程

目次

特集 「永久保存本」

「私の永久保存本」　岩佐玲子　丸橋亮子

「わたしたち」の永久保存本　ロングセラーの絵本たち

「永久保存本」を考える本

図書館オススメスポット

「私の永久保存本」

心ときめく本に出会うことがあります。今回こちらのテーマをいただき、ご紹介するならばとこの一冊を選ばせていただきました。『**０１２３発達と保育―年齢から読み解く子どもの世界―**』です。

発達心理学は、人の生涯における変化について、そこに働くメカニズムを明らかにする研究分野です。ただ、一般法則に迫ろうとすると、どうしても多数派が標準としてその法則の中心となりがちという側面もあります。そしてその法則にシンプルに納得してしまうと、発達が理解できた気になるのですが、「人」は本当に様々。「〇歳頃に〇〇ができるようになる」というのは発達理解の手がかりとしてありがたくありつつ、「〇〇ができる」の表れ方は多様すぎて、保育現場で子どもと関わり始めた頃は「発達を勉強してきたのに全然分からない！」を味わうことになりました。

この本では、子どものエピソードが丁寧に描かれ、それを読み解きながら子どもの内面で何が起こっているのかを考えさせてくれます。
例えば、ある1歳の子どもの食事場面で、お母さんから食べさせてもらうトマトは拒否して、自分では食べるというエピソード。これが「物理的トマト」と「心理的トマト」として説明されます。好きな食べ物としてのトマトは前者、後者はお母さんとの関係を映す鏡としてのトマト、という意味です。自我の芽生えの時期、二項関係から三項関係の世界に入っていく子どもからの見え方にぴったりの表現だと感じ、子どもがもしこの記述を知ることがあれば「大人は分かってくれているなあ」と安心するのではないかと思います。

この本が出版された2012年は、私が保育を始めて10年経った頃でした。実際の姿と発達的な意味を繋げてもらい、一人ひとりの発達の世界がより鮮やかに見えるようになりました。このように発達に迫ることができるのか！まだまだこんなに面白いのか！と衝撃を受けたことを覚えています。

発達や子どもの世界の面白さや奥深さに足を踏み入れてみたい方、ぜひお手に取ってみてはいかがでしょうか？発達心理学の入門書から入り、２、３冊目に読んでいただくのも私としてはお薦めです！

丸橋亮子　教員 社会園芸学科

『０１２３発達と保育―
年齢から読み解く子どもの世界―』
松本博雄・常田美穂・川田学・赤木和重 著
ミネルヴァ書房　2012

54年

『だるまちゃんとてんぐちゃん』
加古里子著　福音館　1967年

52年

『わたしのワンピース』西巻茅子著
こぐま社　1969年

67年

『ちいさいおうち』
バージニア・リーバートン著　石井桃子訳
福音館　1954年

「わたしたち」の永久保存本
ロングセラーの絵本たち

読み継がれて
何年ですか？

54年

『三びきのやぎのがらがらどん』
マーシャ・ブラウン絵　瀬田貞二訳
福音館書店　1967年

56年

『しろいうさぎとくろいうさぎ』
ガース・ウィリアムズ著・絵　松岡享子訳
岩波書店　1965年

55年

『おおきなかぶ』
A・トルストイ著　内田梨沙子訳
岩波書店　1966年

「永久保存本」を考える本

あなたの本を「永久保存本」にする！

『図書の修理とらの巻』
NPO法人書物研究会編
板倉正子監修
野呂聡子　ストーリー・絵
澪標　2017年

千年を生きる書物の世界とは？！

『和本入門-
千年生きる 書物の世界』
橋口候之介著
平凡社 2011年

IT時代の「永久保存本」とは？

『電子記録のアーカイビング』
小川千代子著
日外アソシエーツ　2003年

私だけの「永久保存本」を作る！

『野中モモの「ZINE」
小さなわたしのメディアを作る 』
野中モモ著　赤根洋子訳
晶文社　2020年

図書館オススメスポット☑

□館外の図書館専用掲示板。 新着雑誌がわかります。

□「選書ツアー」で学生が選んだ本を展示。一番人気のコーナーです。

□図書館に新しく入った本はここでチェック！

恵泉女学園大学図書館報ΑΛΕΞΑΝΔΡΕΙΑ（アレキサンドレイア）no51　2021.4
発行　恵泉女学園大学図書館　〒206-8586　東京都多摩市南野2-10-1　Tel. 042-376-8441/Fax.042-376-8336